

協和工業

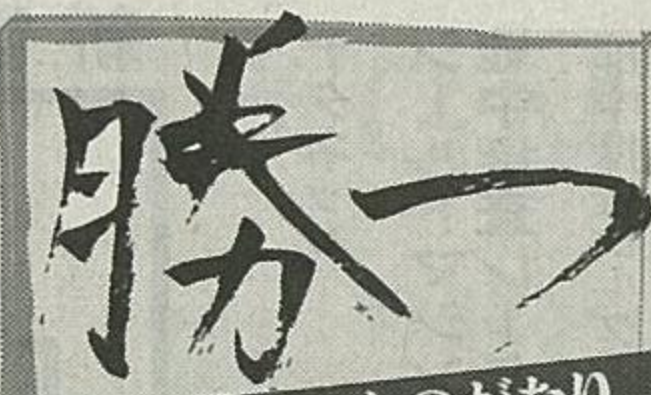
4

まだ少数派

今では自動車業界を中心
に認知されるようになった
冷間鍛造(冷鍛)によるユ
ニバーサルジョイント。し
かし、まだ圧倒的に少数
派。例えば、自動車用ジョ
イントでは今でも熱間鍛造
用シャフトだ。

2013年春の量産開始
を控える新開発品がある。
自動車のステアリング機構
用シャフトだ。

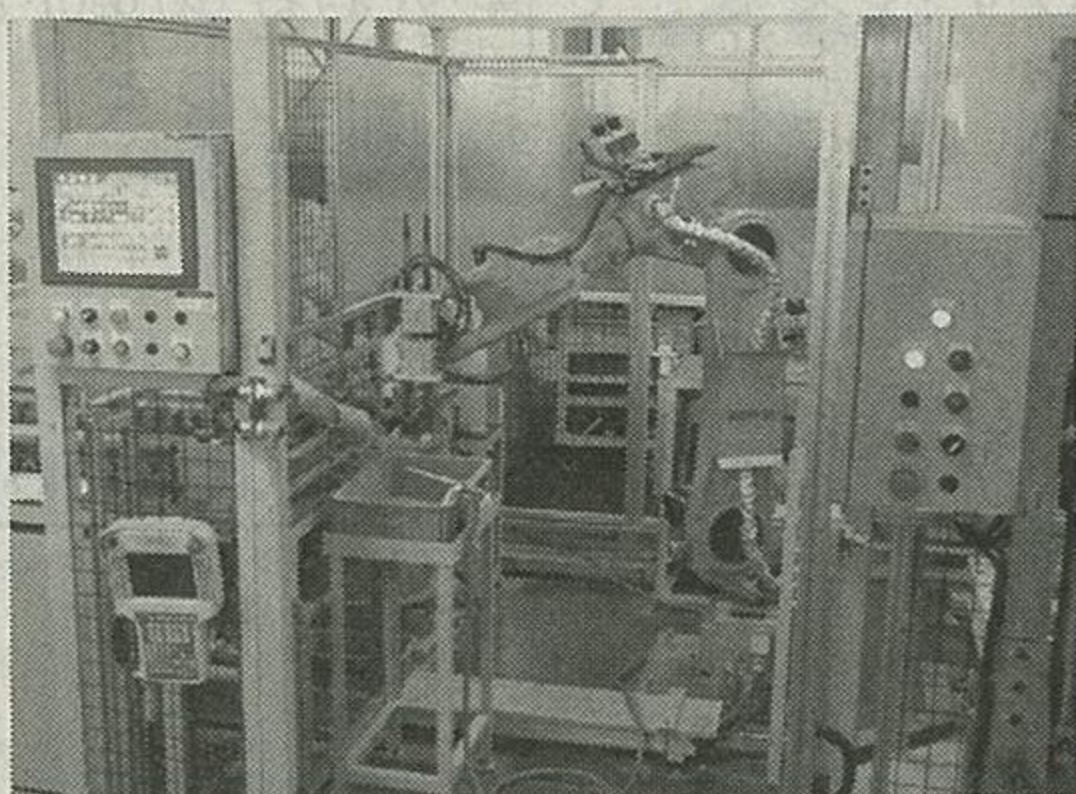
樹脂コーティングを施し
た低コストの常時摺動式
という新タイプのシャフ
ト。ステアリング機構用シ
ャフトの両端に、同社の主



中小企業のものがたり

「潜在的クレーム」見抜き解決

新たなマーケット開拓



新製品の量産開
始に向けて設備
を導入

▲……………
つなげる。

ステアリング
機構用シャフト
の多くは固定
式。走行時にか
かる負荷を軽減
できず劣化しや
すい。劣化する
と音や振動が発
生する。鬼頭は

力製品であるステアリング
ジョイントを取り付ける。
シャフトとジョイントをセ
ットで提案し、受注拡大に

こうした問題を「潜在的ク
レーム」と呼ぶ。リコール
のような表立った問題では
ないが、何とかしたいと思
っている問題。これまで
も、こうした他社ではどう
しようもなかった潜在的ク
レームを解決し、採用を広
げてきた。「困りごと解決
屋(鬼頭)との自負もある。

高級車の一部には常時摺
動式が採用されている。し
かし、摺動部にボールベア
リングを使っており高コス
トで、普及にはこれが足か
せとなっていた。同社は摺
動部にナイロンをコーティ
ングするシャフトを開発、
従来比約30%コストを低減
した。すでに国内自動車メ
ーカーに採用が決まり、量
産に入る。

海外で存在感

海外でも存在感を高めつ
つある。供給先が海外で部
品の現地調達を拡大する
中、10年にタイで、11年に
中国で、それぞれ工場を稼
働した。コア技術である冷
鍛工程は日本に残し、現地
で機械加工と組み立てを行
う。

タイではジョイントを調
達していた現地メーカーの
品質に頭を悩ませていた日
系自動車メーカーから最
近、新規受注を獲得した。

これも潜在的クレームの解
決が認められた結果だ。タ
イは現在では小さな賃借工場
だが、13年末に自社工場を
建設して生産能力を2倍に
高める計画。

「顧客と直接コミュニケ
ーションをとって需要を掘
り起こしたい」(同)。そん
な思いから6月にはユーザ
ーとの直接取引も始めた。
農業機械など自動車以外の
業界向けは販売代理店経由
での供給も多い。そのため
自社ホームページを通じて
ユニバーサルジョイントを
受注し、ユーザーの声をじ
かに聞く機会を増やす。

鍛造業界の異端児、協和
工業。今日も、この中小企
業が常識外の発想を生み出
そうとしている。

(この項おわり。名古屋
・伊藤研二が担当しまし
た)

ユーザー直販

敬称略

敬称略

敬称略

敬称略

敬称略

敬称略

中堅・中小・ベンチャー